

平成 26 年 1 月 17 日

21 世紀文明研究セミナー2013 E 芸術 美術館は試みる

兵庫県立美術館のコレクション展について—名品を活かした展示の企画—

兵庫県立美術館 学芸員 小野 尚子

1. 兵庫県立美術館のコレクションについて

作品総数 5,457 点（平成 25 年 3 月 31 日現在）

洋画、日本画、素描、版画、彫刻、書、写真、工芸

収集の柱

- ・国内外の近代彫刻
- ・近代版画
- ・郷土ゆかりの美術
- ・現代美術

購入・寄贈

寄贈：個人コレクションからの受け入れ

山村コレクション

赤川コレクション

信濃橋画廊コレクション

伊藤文化財団

名品紹介

オーギュスト・ロダン 《オルフェウス》（1892 年）

舟越保武 《ダミアン神父》（1975 年）

ジェームズ・アンソール 《カテドラル》（1886 年）

マックス・エルンスト 《博物誌》（1926 年）

小磯良平 《斉唱》（1941 年）

金山平三 《大石田の最上川》（1948 年）

吉原治良 《黒地に赤い円》（1965 年）

2. 兵庫県立美術館のコレクション展

展示室

1階： 1、2、3、4、5(彫刻＋安藤コーナー)

2階： 小磯、金山、6

年3回のコレクション展

コレクション展Ⅰ－企画性の高い展示

2012 年度 「美術をみる8つのポイント」

2013 年度 「いのちの色 美術に息づく植物」

コレクション展Ⅱ－前年の新収品おひろめ ＋ 美術の中のかたち－手で見える造形展

2012 年度 「特集 新収蔵品による S・W・ヘイター展」

「美術の中のかたち－手で見える造形展 祐成政徳展」

2013 年度 「特集 新収蔵品紹介 信濃橋画廊コレクション」

「美術の中のかたち－手で見える造形展 一岡晋司・重松あゆみ・中西學」

コレクション展Ⅲ－名品を中心に ＋ 小企画

2012 年度 「こんな人がいた！兵庫美術家列伝」

「小企画 赤鉛筆のアウトサイダー小幡正雄展」

2013 年度 「美術の始まる場所」

「小企画 奥田善巳展」

3. 2013 年度コレクション展Ⅲ「美術の始まる場所」

作品はなぜ作られるの？芸術家は、何を動機に作る行為に走るの？

動機の部分に目を向ける。

人生を愛でる・・・画家が描き留めた身近な人々、愛情をそそいだもの、故郷、特別な土地

新たな道を求めて・・・新たな表現、技法、自分だけのものを探り求める

社会の中の芸術家・・・社会の中の芸術のあり方について考える

内なる世界へ・・・芸術家の心の中をのぞく